

# 父母に捧げる 終の棲家

施主である息子さんが、ご両親が心やすく住まえる終の棲家を、と一念発起。限られたスペース、限られた予算の中、足の不自由なお母さまと日中介護されるお父さまに快適に過ごしてほしい、そんな優しい思いが詰まったリフォームになりました。



お母さまのお部屋の隣が LDK。LDK からは玄関・サニタリーへも移動しやすく、お母さまの生活動線ができるだけ短くなるよう配慮しています。コンロが安全性の高い IH になり、お母さまが調理される際のご家族のストレスも軽減。勝手の変ったキッチンでお母さまが戸惑われないよう、息子さん手書きの大きなメモが収納スペースなどに貼られています。



ロフトに息子さん念願の「プライベート空間」が誕生。しっかり断熱されているのでエアコンひとつで年中快適とのこと。仕事や介護で疲れても、この部屋でゆっくり回復できるとお喜びに。



## ロフト

背の高い息子さんにとって、階高の低いロフトスペースへの昇降はご負担なため、少しでも移動が楽になるよう、梯子ではなくきちんとした階段を設けました。



## LDK

## 玄関 まわり



母屋のサイディング・増築のサニタリースペースの塗装をベージュで合わせ、屋根・窓・玄関サッシ・手すり等はダークブラウンで統一して外観のコントラストを引き締めました。ガレージへの往來の際、夜でも足元がしっかり見えるよう、屋根に自動点灯照明を設置。

以前は介助が必要だった玄関の大きな段差がなくなり、ポーチにも玄関にも手すりがあるので、今ではお母さま一人で家の前のお散歩を楽しみに出入りされているそうです。



## サニタリー



将来的に車椅子を使用する場合に備え、サニタリースペースの各間口をできるだけ広くしました。

寒すぎて苦痛だったお風呂が極楽タイムに変わったと、ご家族が本当に喜んでくださった SB には、浴室乾燥暖房機も設置。

洗面化粧台にも、お母様へのメモ書きが。

トイレは入り口から奥まっているので、トイレ⇄洗面室への壁伝いの手すりを設置。

お母さまの気分が少しでも華やかになればと、ピンクのクッションフロアを選ばれました。

